

## 京都府

- 京都府の年間商品販売額は卸売業の8割、小売業の6割が京都市に集中 -

京都府の事業所数をみると、卸売事業所の73.4%、小売商店の62.4%を京都市が占めています。年間商品販売額でみると、卸売業の81.3%、小売業の66.6%が京都市に集中しています。

業種別にみると、繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)は事業所数、就業者数ともに全国で3位となっています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区が41.7%と最も多く、商業集積地区の内訳では住宅地背景型が44.9%と最も多く、次いで、市街地型と駅周辺型がほぼ同じ割合となっています。

卸売販売品目をみると、上位に「織物」が入っています。

### 1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

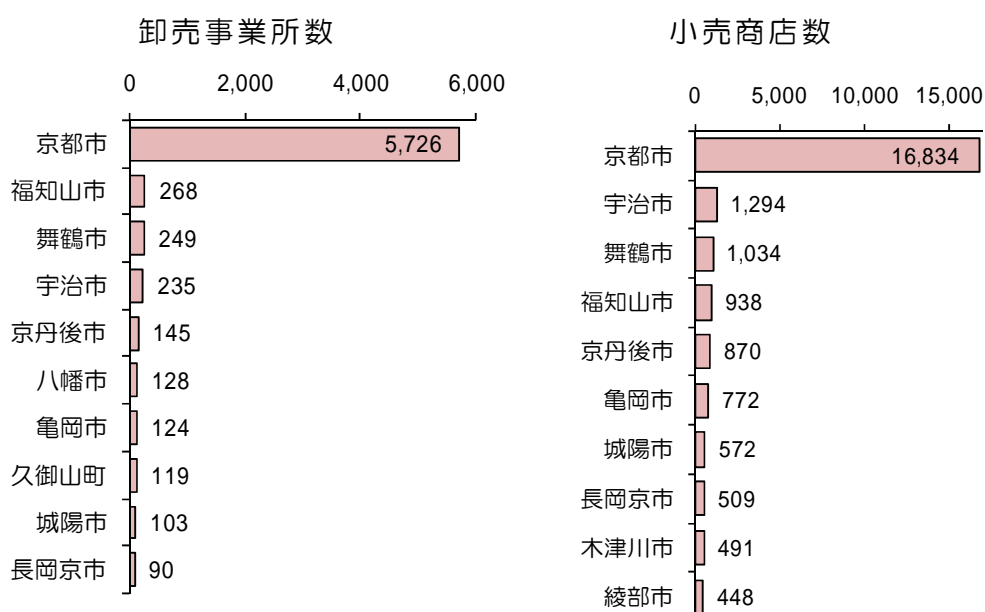
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
京都府計	34,767	12	268,207	12	7,396,170	13	
業種別	卸売業計	7,803	12	74,180	13	4,373,672	15
	各種商品卸売業	26	16	289	14	11,335	20
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	693	3	4,087	3	167,611	4
	衣服・身の回り品卸売業	954	4	10,046	4	411,438	5
	農畜産物・水産物卸売業	808	13	9,174	13	563,442	15
	食料・飲料卸売業	975	12	11,066	12	702,855	13
	建築材料卸売業	720	18	5,288	17	332,254	15
	化学製品卸売業	279	13	2,049	13	98,617	24
	鉱物・金属材料卸売業	182	24	1,820	24	142,171	34
	再生資源卸売業	138	20	994	21	25,740	26
	一般機械器具卸売業	425	17	4,017	17	231,759	17
	自動車卸売業	329	18	3,022	20	176,520	17
	電気機械器具卸売業	323	15	4,073	13	380,677	16
	その他の機械器具卸売業	201	15	2,241	13	133,010	14
	家具・建具・じゅう器等卸売業	403	10	2,748	12	101,863	15
	医薬品・化粧品等卸売業	360	12	4,308	13	367,944	13
	他に分類されない卸売業	987	12	8,958	12	526,435	14
	小売業計	26,964	12	194,027	11	3,022,498	12
	各種商品小売業	91	21	23,561	10	481,393	10
	織物・衣服・身の回り品小売業	4,297	11	20,530	11	362,684	9
	飲食料品小売業	9,127	12	74,703	11	881,552	13
	自動車・自転車小売業	1,827	16	11,185	17	306,217	17
	家具・じゅう器・機械器具小売業	2,530	13	11,675	12	234,950	12
	その他の小売業	9,092	12	52,373	13	755,701	16
	医薬品・化粧品小売業	1,598	15	9,093	13	152,250	15
	農耕用品小売業	183	33	857	30	13,529	38
	燃料小売業	838	33	5,817	26	189,484	26
書籍・文房具小売業	1,309	10	14,489	11	104,400	11	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	656	13	3,717	13	52,619	13	
写真機・写真材料小売業	103	13	377	13	4,225	12	
時計・眼鏡・光学機械小売業	462	12	1,557	12	19,785	12	
他に分類されない小売業	3,943	11	16,466	11	219,410	12	

## 2. 市町村の状況

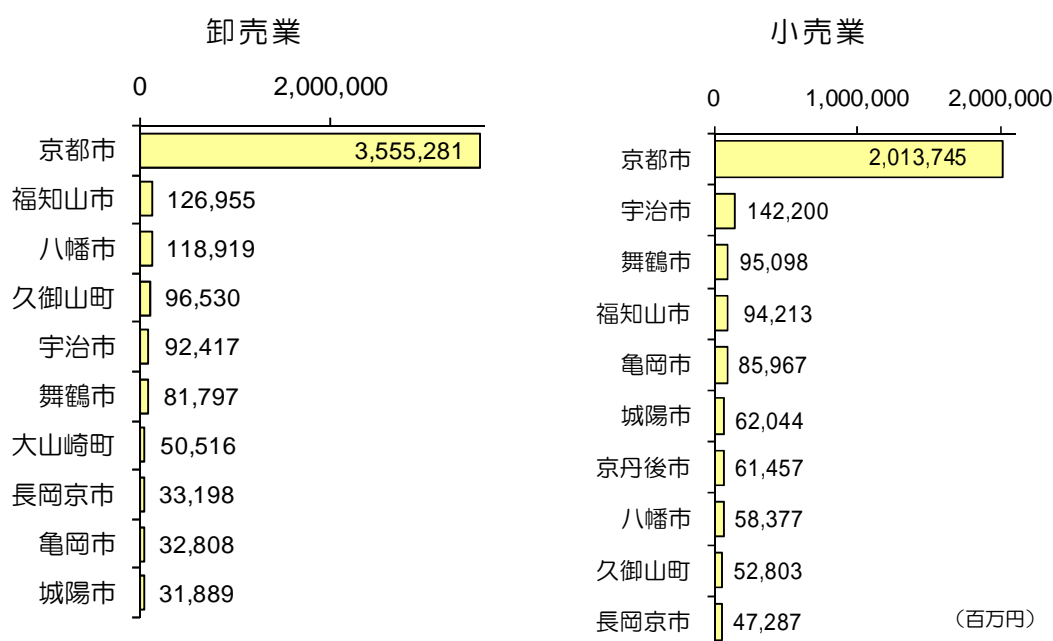
京都府の事業所数をみると、卸売事業所、小売商店ともに京都市が圧倒的に多く、卸売事業所の73.4%、小売商店の62.4%を占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の81.3%、小売業の66.6%が京都市に集中しています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

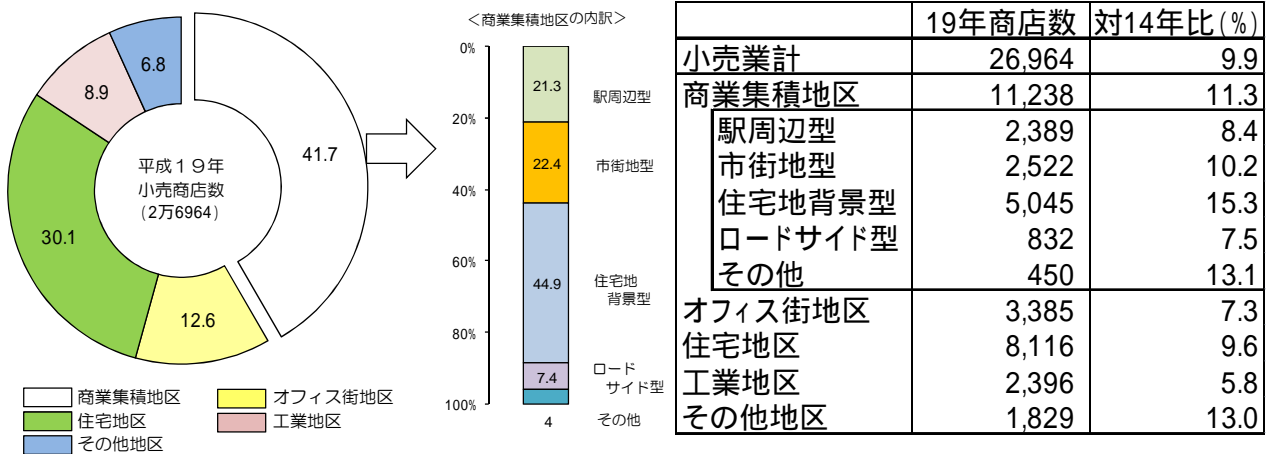


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



### 3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が41.7%と最も高い割合となっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型が44.9%と最も多く、市街地型と駅周辺型は20%を超えています。



### 4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「織物」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)

